

みやざき こうつ りか
宮崎(河津) 梨香

はぎまえ698合同会社 代表社員

03

-北部-

応募のきっかけは？

着任前は広島県でタウン誌や新聞の記者をしていました。「書く」ことは私にとって一番の表現方法なのですが、情報発信と消費を繰り返す状況に疑問を感じていました。一方で、地域貢献や社会的活動に取り組む方々取材するうちに、自分も故郷のために何かしたいと思い始めました。そこで、萩市の協力隊になって魚食文化を学び、出身地である山口県の活性化にも貢献できればと思い応募しました。



発酵ユニット「Marble」



任期中に結婚・出産されたと聞きました

任期中に結婚したため、産休と育休をいただきました。前例のない中、育休を取得し、育休後に協力隊に復帰させていただいたことを萩市にとっても感謝しています。出産前後の不安を取り除いてもらえたことは大きかったです。

隊員時代の思い出を教えてください

自分としては情報発信から一旦離れてリセットしたかったのですが、与えられたミッションは広報でした。市全域が対象で、どこから着手したものかと悩みましたが、地域の現場で活動する協力隊の同期メンバーを訪ねたり、一緒に食品開発などのプロジェクトに取り組んだりすることで、自分と地域とのつながりも生まれていきました。

現在、そしてこれからについて

「はぎまえ698合同会社」で、グリーンツーリズムと編集事業に取り組んでいます。

ツーリズムでは農泊やものづくりなど幅広い体験を提供し、編集事業では、萩の人々の営みを伝える『はぎのね』や、ユニークな人やお店などを深掘りする『つぎはぎ』などを発行しています。体験や情報を通じて、萩の人々の人柄やまちの空気感、本質的な暮らしを楽しんでもらえたら嬉しいです。



▲『つぎはぎ』vol.2



▲『つぎはぎ』vol.3

また、着任前からのテーマだった「発酵」は、萩の酒蔵の酒粕を使った食品開発プロジェクトのきっかけとなり、その後、発酵好きのユニット「Marble」が誕生しました。



▲隊員時代：萩SAKEKASU5

メンバーに萩市初の女性杜氏や無農薬有機栽培の農家さんもいて、思わぬ展開や結果が出ています。素材を余すことなく活用することも含めて、既存のものに新しい価値をつけ、将来的に地域経済の循環につながればと思っています。

協力隊を目指す人や後輩に伝えたいこと

最初から地域との距離が近いのは、協力隊ならではです。地域は楽しい。暮らしを意識しながら、自分が何をやりたいかを明確にして、実現してほしいですね。

みやざき りか
宮崎 梨香さん

▶ 協力隊として

| 着任地 | 萩市

| 活動期間 | 2015年9月～2019年8月
(2017年1月～2018年3月育児等休暇)

| 活動内容 | 萩ブランド創造に関する業務

▶ 現在の仕事

はぎまえ698合同会社 代表社員

| ホームページ |

<https://www.hagi-tourism.com/>



宮崎さんのあゆみ

2015.09 ● 協力隊着任

2016.06 ● 同期隊員と「萩 SAKEKASU5」プロジェクト開始

2016.07 ● 萩市内5つの酒蔵から生まれた酒粕を使ったデザートやパンが誕生 & 発売

お店と商品、観光名所を紹介するパンフレットを作成

2017.03 ● 結婚

出産

2018.05 ● 発酵ユニット「Marble」発足

2018.07 ● 萩の魅力を伝えるリトルプレス『つぎはぎ』を仲間たちと創刊

「むつみひまわりロードフェスタ」出店

2019.05 ● 酒粕のジェラートや焼き菓子、日本酒カクテルなどを紹介

2019.08 ● 「はぎまえ698合同会社」設立

協力隊卒業